

市長と語る タウンミーティング  
テーマ「災害に強いまちづくり」

日 時 平成 24 年 11 月 29 日（木） 午後 7 時 30 分～9 時 10 分  
会 場 コスモスホール（上福岡一丁目町内会）  
天 気 雨

参加者 103 人

主な意見等（◆・・・参加者 ☆・・・市長）

- ◆地震発生したときテレビなどのニュースで速報出るが、いつもふじみ野市は出ない。震度計は設置しているのか。
- ☆震度計については、本庁舎の裏にちゃんと埋まっていて、地震発生時に揺れをキャッチすると、瞬時に県や気象庁にデータが流れる仕組みになっている。そういった状況の中で、我が市については、常に近隣市町に比べ震度 0.5～1 程度低い数字になっている。これは、恐らく地盤がしっかりしていることの表れだと思う。
- ◆グロリアハイツに住んでいる。老朽化が気になるところであるが、耐震診断や耐震工事に対する市の助成についてお尋ねしたい。今日も、同じマンションから 15 人ほどこのタウンミーティングに参加している。
- ☆耐震診断の補助としては、診断費用全体の 2/3 を対象経費とし、一戸あたり 2 万円が限度額になっており、耐震工事については、工事代金の 23%を対象とし上限額は 2000 万円までとなっている。
- ◆役所では膨大なデータを管理していると思うが、他に管理場所は設けてあるのか、防災対策的な観点でお聞きしたい。
- ☆外部でバックアップデータは保管しており、栃木県での管理となっており万全を期している。
- ◆自主防災組織運営についての、市からの支援内容を伺いたい。
- ☆結成支援、活動支援、資機材支援などさまざまな方向から支援を行っているところである。新規立ち上げについては一組織につき 20 万円を支援金としている。
- ◆取り組みの大枠は大体理解できる。自助・共助・公助という中で、共助の部分がクローズアップされているが、人材的に限界があるのではないか。ある程度の知識と経験を持った人間が先導する体制をつくらないと難しいと思う。
- ☆確かにおっしゃる通り災害対策には、そのノウハウや知識が必要だと思う。私も長年に渡り消防団に入って活動していたが、地域には同じように消防団を退団した人や、役所、消防署を退職された方も探せばいらっしゃると思う。行政としてもその方々のお力を是非お借りしたいので、出来る限りその調べを行い、地域の皆さんにも情報提供していきたいと考えている。現に、他の地域では、東京消防庁出身の方が自主防災組織でそのお力を発揮している例もある。12 月

2 日の防災訓練では、訓練活動を見学してもらうというよりも、一緒に参加していただき、その地域において想定し得る災害内容を皆さんで出し合ってもらい、その時、どう行動したら良いかなど、その対処方法などについて皆さんで知恵を絞っていただきたい。このような全市をあげての防災訓練も初めての取り組みのため、何分にも手探りの状況であるが、体験型の訓練となるよう考えているところ。

◆上野台団地の空いた土地に民間の住宅など建設されているが、今後の人口の推移はどうなっていくのか。

☆基本構想での人口推計としては平成 27 年に 120,000 人になるとしている。空いた土地には、現在、社会福祉法人や医療法人による特別養護老人施設の建設、中高層や戸建て住宅の建設予定がある。地区計画を見直し、一部中高層住宅から戸建て住宅に変更をした。現在、2 市 1 町でも一番人口が多くなり、108,000 人を超えた。近隣でも一番子育てし易いまちを目指している。しかし、それは高齢者をないがしろにしようというのではなく、支える世代を増やして財政基盤を盤石なものにしようとする施策である。国全体として、支える世代が激減している中、国も有効施策を考えてはいるが、国による制度改正など待つてはられない状況である。何としても、現役世代を増やしたい。ふじみ野市では直近の 4 年間で 3,000 人の人口増があり、そのうちの 75%が現役世代である。我が市は、ICT を活用した教育施策は県下でもトップクラスであり、子育て世代には十分なアピール施策を実施しながらも、財政状況がかなり改善してきている。まさに、高齢者も安心して暮らせるふじみ野市として人口 120,000 人を目指している。

◆上福岡駅東口の駅前整備の状況は。

☆東口の整備については、昭和 30 年代から都市計画決定がされていたが、なかなか実現できず、今に至っている。関係者の皆さんにはご理解いただき、協力体制がとれる状況であっても、行政としてなかなか実現できなかった。50 年来の懸案事項を何とか解決したいと思っている。年内には暫定整備の工事がスタートする予定である。

◆災害時には特にお年寄りや幼児には配慮が必要だと思う。3.11 の時、うちの保育園では夜中の 12 時に最後のお迎えが来た。民間の保育園などに対して、非常時にはどのようなサポートをしてもらえるのか。こちらとしても、4~5 日分の食糧などは蓄えているが、ガス、電気、水道などのインフラが止まると、非常に大変である。自家発電機も欲しいぐらい。非常時の乳幼児等（弱者）に対する支援はどのように考えているか。

☆3.11 の時、公立保育所では西地域で停電があったため、停電地域の全保育所の子どもたちを停電していない亀久保保育所に集め、保育士つきっきりのもと、最後のお迎えがあった翌朝 6 時までお預かりした。当然、その間については必要な食糧、毛布、水など供給しながらという状況だった。自助の部分としては、食糧や水、懐中電灯や自家発電機の備えも必要だと思うが、長期戦を想定する

となかなか自助だけではという部分もあるので、今後、市の子育て支援課と調整が図れば良いかと思う。

◆まちづくりの件であるが、サンロード駅前商店街の銀杏の木を、見頃を迎える前に今年も伐採された。昔、上福岡市の時代にも秘書室に抗議をしたが、その時言われたのは「我が市としては枯れ葉についてはゴミである」と。そこまで言われたらその後は何も言わなかった経緯がある。しかし、また同じことをやられた。違う役所に聞いてみたら、黄色のうちは切りませんという回答だった。銀杏の木は黄色く染まった時にみんなの目を楽しませるものなのに、その前に丸坊主にされている。プラタナスも丸坊主。

☆市で実施している事務事業数千項目をすべて熟知してないので、後で調べてお答えしたい。けやきなども根をはりすぎて道路を持ち上げたりしている状況もある。その対処経費も皆さんの大切な税金である。生活保護費が現在、24億円を超え、その他医療給付費なども激増している状況下において、効率よく効果的に財源を投入していかなければならないと思っているので、後日、可能な限り早く調べてはつきりとお答えしたい。

◆枯れ葉は目の前にいる人にとっては大変（迷惑）なものだと思う。

◆3,11以来、国をあげて防災を叫んでおり、ふじみ野市も同じように取り組んでいる中、線路から東側については念願の防災道路ができたのは良いが、北野・大原地区に大火が発生した場合、大型の消防車両は入れない。経費はかかるとは思うが、さくら通り線は重要な線だと思う。今後についての市長の考えは。

☆防災道路としての桜通り線ということであるが、あの道路については当時も賛否両論あり、実際、この先の2期工事を進めていくのは困難だと思う。東西連絡道路も当時65億円と、巨額な費用をかけての計画だったが、行政は常に継続である。ふじみ野市も合併直後に政権交替があり何とかしたかったが、私が就任したときの状況は、既に時間切れの状況であきらめざるを得なかった。防災道路という観点では桜通り線だけでなく、市域全体で各所に整備が必要な道路が存在しているので、効果的な方策を練り何とか整備を進めていきたいと思っている。しかし、今すぐに取りかかることができないのが正直なところである。今後、財政をより一層好転させて、皆の要望に応えられるまちづくりのため、必要な所に必要な経費を投入していけるように努力していきたい。今日も国交省に行き、地域の声を正直に苦言として発してきた。上福岡の駅前整備については、2,000㎡でも補助を出して欲しいということと、市の財政負担を引き起こすサービス付き高齢者住宅（特別養護老人施設と違い住所地特例制度の適用外）の乱開発を止めて欲しいとはつきり意見を述べてきた。

◆先ほど話しに出ていた東西連絡道路のことについて、もう少し詳しく聞かせて欲しい。

☆今現在について計画は無くなってしまっている。あの当時、国も道路整備事業を縮小していた中、事業認可を下ろしていたことはすごいことだったので、何とか進めたかったが、我が市の政権が交替し、数年間にわたる事実上の事業凍

結がなされ、私の就任時にはもう何も手を付けられない状況であった。しかし、既に補助金が入っていたので、返還しなくても済む方策として雨水対策等の事業実施を考えるだけで精一杯だった。地下道は開かずの踏み切り対策には確かに有効な手段であるが、同時に商店街を半分削ることにもなり、何よりも 65 億という巨額な資金を工面するには時間が無く、計画中止の決定を最終的にしたのは私である。

◆県道もかなり混雑するときは、役所の辺りまで車が繋がることもある。しかし、県の協力を得ながらも道路自体をいじることは難しいと思うので、志木から川越市までの複々線化を是非お願いしたい。

☆私もその案は素晴らしいと思う。エレベーターの設置などについても。近隣市町で構成している「東上線改善対策協議会」の中で要望活動を行い、実施に至っている経緯を踏まえ、今後もこの協議会での要望活動を更に強化していきたい。

◆旧あさひ銀行跡地の件について、変な形で残っているが、今後はどんな利用をしていくつもりか。上福岡一丁目には公園が無いので、そういったものに使うのも良いと思うが。

☆現在は、開発公社の所有地（開発公社で先行取得し後で市が買い戻すという事業展開）という位置付けであるが、これまでは一部を県道拡幅のための代替地に使ってきたりしている中で、おっしゃる通り変な形で残ってしまっている。今後は、処分していきたいと考えているが、お金に換えるのか、何かに活用していくのかについては、市内全体でトータル的に考え、有効な手段を講じたい。皆さんの大切な税金をいかに有効活用できるかが、一番重要なことだと思う。